

# Office 365 管理の 効率的なツールキット

文書番号 ZJTM181227101

発行日 2018 年 12 月 28 日



## 目次

Office 365 を正しく管理するために .....	1
ライセンス管理.....	2
ユーザープロビジョニング .....	4
グループレポート .....	8
ユーザーレポート .....	11
ライセンスレポート .....	15

### Office 365 を正しく管理するために

Office 365 はクラウド環境で作業したいと考えている企業にとって役に立つリソースですが、Office 365 の管理用のネイティブツールにはいくつかの欠点があり、また Office 365 のコンポーネントを網羅的に分析することができません。このガイドは、ADManager Plus における Office 365 ユーザーやライセンス管理機能、およびレポートを使いこなすためのガイドを提供しています。

# Office 365 管理の効率的な管理用ツールキット

## ライセンス管理



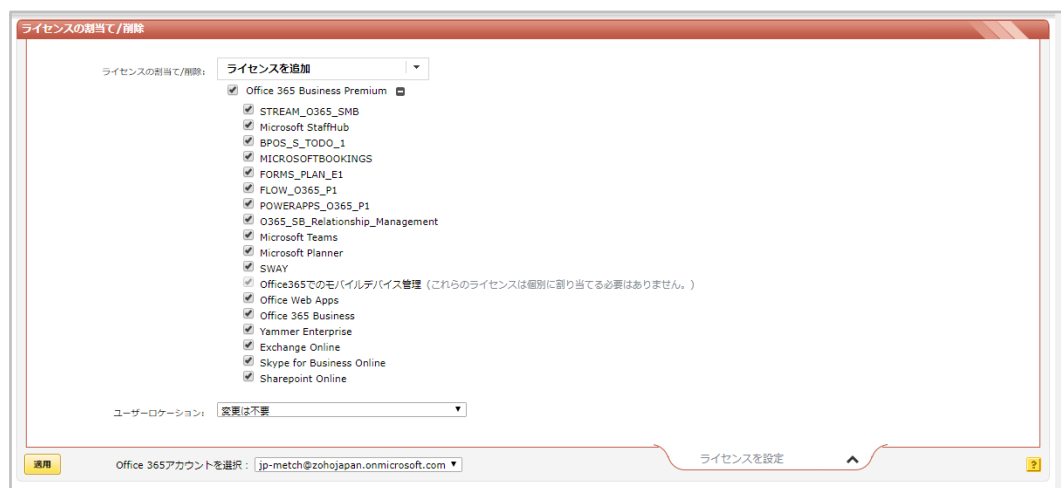
### Office 365 ライセンスの効率的な管理

多くの企業は、Office 365 の使用を開始するとき、必要な数のライセンスを推計します。Office 365 のライセンスの使用を常に最適化することは、Office 365 管理者の仕事です。この最適化には、新しい従業員へのライセンスの割り当て、組織を離れる従業員からのライセンスの削除、非アクティブユーザーのライセンスの撤回、他のユーザーへのライセンス再割り当てなどの作業が含まれます。

ライセンス使用を常に追跡することは、ライセンスのコストを削減する上で重要です。管理者は複雑な PowerShell スクリプトを使用してライセンスを管理することができますが、この方法は簡単でもなければ完璧でもありません。おすすめの方法は、ADManager Plus を使うことです。ウェブベースのソリューションであり、Office 365 のライセンスを個別または一括で管理することに役立ちます。

ADManager Plus では、以下の操作ができます：

- **Office 365 のライセンスを追加：**  
ライセンスプランからユーザーに対して、個別にまたは一括で、Office 365 のライセンスを割り当てます。
- **Office 365 のライセンスを置き換え：**  
ユーザーの現在の Office 365 のライセンスを、別のライセンスとワンクリックで置き換えます。
- **Office 365 のライセンスを削除：**  
ユーザーに割り当てられた Office 365 ライセンスを、好きな時に手動または自動で削除します。



ライセンス適用画面

# Office 365 ライセンスの効率的な管理

## Office 365 の設定方法

Office 365 のライセンスを ADManager Plus で管理するには以下の手順に従ってください：

1. Office 365 のタブをクリックして、左側のメニューで**管理**をクリック
2. **ユーザーを一括で変更**の下にある**ライセンスの割り当て/削除**をクリック
3. 適切な Office 365 のアカウントを選択して、**ライセンスを設定**をクリック
4. **ライセンスの割り当て/削除**のフィールドから実行したい操作を選択  
オプション：
  - ライセンス追加
  - ライセンスのリプレース
  - 選択したライセンスを削除
  - すべてのライセンスを削除
5. 任意の**ユーザーロケーション**を選択
6. ユーザーのリストから**管理するユーザーアカウント**を選択  
ユーザー選択方法：
  - ユーザーリスト上部の検索欄を使用
  - ライセンスを管理するユーザーを指定した CSV ファイルをインポート
7. Office 365 をオンプレミス型の Active Directory (AD) に紐づけている場合、必要に応じて AD ドメインと**組織単位 (OU)**に基づいて Office 365 のユーザーをフィルタリング
  - フィルターを有効化するには、Office 365 のアカウントの隣にある**フィルターアイコン**をクリックします。既定では、AD のすべてのドメインにリンクされたユーザーが表示されますが、特定のドメインを選択することもできます。
8. **適用**をクリックして変更内容を保存

# Office 365 管理の効率的な管理用ツールキット ユーザープロビジョニング



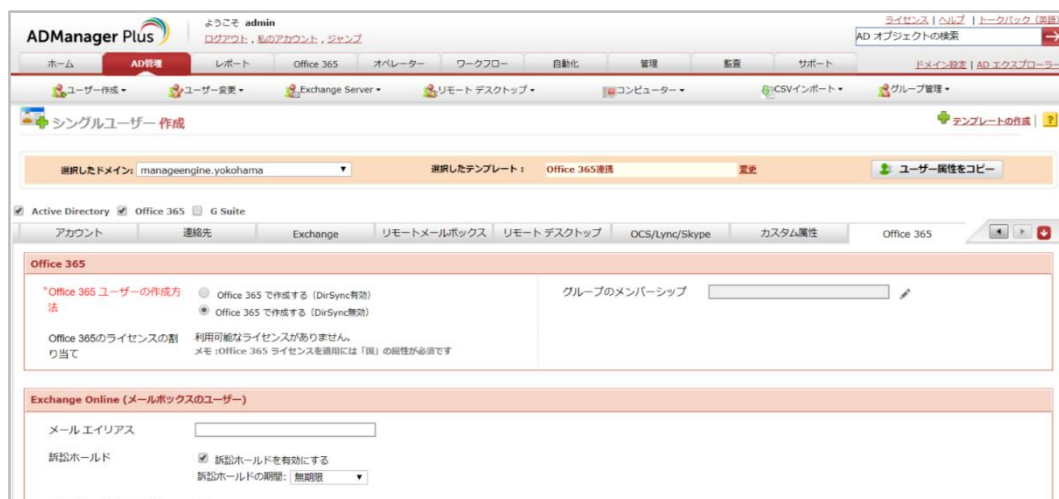
## Office 365 ライセンスの効率的なユーザープロビジョニング

組織が Office 365 を採用したときに、まずしなければならないことの1つはユーザープロビジョニングです。クラウド環境とオンプレミス環境のいずれを使用しているかによって、IT 管理者は、ユーザープロビジョニングと管理のためだけに、Active Directory (AD) のネイティブツール、Office 365 管理センター、Exchange 管理センター、PowerShell、およびその他のツールを組み合わせる必要があります。これらすべてのツールを切り替えながら使用することは、不便であるだけでなく、時間の無駄です。そのせいで、ユーザーが必要な Office 365 のリソースを使用できなくなることもあります。

上記の課題に対する最適な方法は、ADManager Plus を使うことです。これは、ウェブベースのツールであり、体系的かつ効率的なユーザープロビジョニングを行うのに役立ちます。

ADManager Plus で以下の操作ができます：

- 既に AD に存在するユーザーの Office 365 アカウントを作成
- AD、Office 365、Exchange などと同時にユーザーを作成



Active Directory と Office365 ユーザーの一括作成画面

# ADManager Plus でユーザープロビジョニング

## 既に AD に存在するユーザーの Office 365 アカウントを作成

ADManager Plus により、AD に既に存在するユーザーのアカウントを Office 365 で作成するには、以下の手順に従ってください：

1. **Office 365** タブをクリックして、左側のメニューで管理をクリック
2. ユーザー作成の下にある**既存の AD ユーザーの Office 365 アカウントの作成**をクリック
3. Office 365 アカウントを作成するユーザーを含むドメインを選択。OU から絞り込む場合、画面上部の OU 追加をクリックして対象の OU を選択
4. Office 365 アカウントを作成する AD ユーザーを選択
  - アカウントを作成する AD ユーザーを含む CSV ファイルを用意している場合、ユーザーリスト上部の CSV のインポートをクリックしてインポートします。
5. **Office 365 のプロパティを選択する**をクリック
6. Office 365 のプロパティ選択ウィンドウにおいて、以下の情報を入力：  
ドメイン、パスワード、グループメンバーシップ、ライセンス情報、Exchange Online の詳細
7. **作成**をクリック

## AD、Office 365、Exchange などで同時にユーザーを作成

ADManager Plus では、Office 365、Exchange、Active Directory で同時にユーザープロビジョニングを行うには、以下の手順に従ってください：

1. **AD 管理**のタブをクリックして、左側のメニューで**ユーザー管理**をクリック
2. ユーザー作成で**シングルユーザーの作成**をクリック
3. AD と Office 365 でユーザーのアカウントを作成するために、タブの上にある **Active Directory** と **Office 365** のオプションを選択
4. **一般タブ**に任意のユーザー情報を入力
  - 既存のユーザーアカウントから属性をコピーしたい場合は、**ユーザー属性をコピー**をクリックします。
5. **コンテナを選択**フィールドの編集アイコンをクリックして、任意なコンテナを選択
  - コンテナ選択ウィンドウで新規 **OU の作成**をクリックして、新しいコンテナを作成することもできます。
6. **アカウントタブ**をクリックして、アカウントの情報を入力
7. **連絡先タブ**をクリックして、ユーザーの連絡先情報を入力
8. **Exchange タブ**をクリックして、有効なメール、メールボックスが必要か否かを指定
9. **リモートメールボックスタブ**をクリックして、ユーザーのリモートメールボックスを作成
10. **リモートデスクトップタブ**をクリックして、ターミナルサービス属性を入力
11. **OCS/Lync/Skype タブ**をクリックして、必要な OCS/Lync/Skype for Business の属性を入力
12. **カスタム属性タブ**をクリックして、カスタム属性の値を入力
  - 作成成功時にカスタムスクリプトを実行するには、カスタムスクリプトオプションを有効化して、スクリプトコマンドウィンドウでスクリプトを入力します。
13. **Office 365** タブをクリックして、**ユーザーアカウント作成の方法**を選択
14. **Office 365 のライセンスの割り当て**の隣の[+]ボタンをクリックして、サービスの種類を表示。ユーザーに割り当てたいライセンスとサービスを選択
15. グループのメンバーシップフィールドで、ユーザーを追加したいグループを選択

16. ユーザーに割り当てられた Exchange Online メールボックスがある場合、目的のメールエイリアスを入力して、メールボックスの訴訟ホールドまたはインプレースアーカイブを有効化

*注意：Office 365 のタブは、Office 365 の設定を ADManager Plus で行った場合のみ利用可能です。また、Windows Azure モジュールを、ADManager Plus をインストールした端末にインストールしてください。*

17. Office 365 のライセンスを適用する場合、**連絡先タブの国**フィールドから国を選択

*注意：UPN サフィックスが Office 365 ドメインと一致する場合、そのドメインがアカウント作成で使用されます。そうでない場合、Office 365 の既定のドメインが使用されます*

18. 必要なすべての詳細情報を入力後、**作成**をクリックして新規アカウントを Active Directory と Office 365 に追加

*注意：メールボックス生成には時間がかかるため、一部のタスクが遅れる場合があります。すべての保留中の操作は、遅延中の管理タスクに表示されます。*



# Office 365 管理の効率的な管理用ツールキット

## グループレポート



### Office 365 のグループレポートの利点

ADManager Plus の Office 365 向けグループレポートは、以下の情報を提供します：

- **Office 365 すべてのグループレポート：**  
Office 365 環境で利用可能なすべてのグループの情報を提供します。管理者は、このレポートに基づいて環境から不要なグループを削除、および新しいグループを作成できます。
- **Office 365 セキュリティグループレポート：**  
管理者は承認外のセキュリティグループを特定して、重要なリソースに対する不正アクセスを阻止するための適切な操作を実行できます。
- **Office 365 配布グループレポート：**  
管理者が新しい配布グループの作成や既存のグループの削除に判断することに役立ちます。
- **グループメンバーレポート：**  
Office 365 セットアップで選択されたグループのメンバーを表示します。これは、セットアップ内のリソースに不正アクセスが行われないよう対策を立てることに役立ちます。
- **動的配布グループレポート：**  
管理者は、対応する Office 365 アカウントのすべての動的配布グループに関する詳細な情報、例えば受信者フィルター、メールアドレス、グループ ID などを閲覧できます。
- **動的配布グループのメンバーレポート：**  
このレポートはメンバー名、メールアドレス、グループ名などの配布グループのメンバーに関する情報を提供します。



Office 365 グループレポート画面

# ADManager Plus で Office 365 のグループレポート生成

## Office 365 すべてのグループレポート

Office 365 環境で利用可能なすべてのグループのリストの取得方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. グループレポートをクリックして、グループレポートの下の Office 365 すべてのグループをクリック
4. 目的の Office 365 アカウントを選択して、作成をクリック

## Office 365 セキュリティグループレポート

Office 365 セットアップのセキュリティグループのリストの取得方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. グループレポートをクリックして、グループレポートの下の Office 365 セキュリティグループをクリック
4. 目的の Office 365 アカウントを選択して、作成をクリック

## Office 365 の配布グループレポート

Office 365 環境におけるすべての配布グループのリストの取得方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. グループレポートをクリックして、グループレポートの下の Office 365 配布グループをクリック
4. 目的の Office 365 アカウントを選択して、作成をクリック

## Office 365 グループメンバーレポート

選択した Office 365 環境でグループに所属しているすべてのユーザーのリストの取得方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. グループレポートをクリックして、グループレポートの下のグループメンバーをクリック
4. 任意の Office 365 アカウントを選択
5. 任意のグループをリストから選択して、作成をクリック

## 動的配布グループレポート

すべての動的配布グループのリストの取得方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. グループレポートをクリックして、グループレポートの下の動的配布グループをクリック
4. 任意の Office 365 アカウントを選択
5. 今すぐ生成をクリック

## 動的配布グループメンバーレポート

動的配布グループに所属しているユーザーの情報を取得：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. グループレポートをクリックして、グループレポートの下の動的配布グループメンバーをクリック
4. 任意の Office 365 アカウントを選択
5. 今すぐ生成をクリック

# Office 365 管理の効率的な管理用ツールキット ユーザーレポート



## Office 365 のユーザーレポートの利点

Office 365 の管理者は、自身の環境に存在するすべての Office 365 ユーザーに関する情報、例えば、非アクティブユーザーやログオンしたことがないユーザーなどを把握して、ライセンスの割り当てと削除に関する適切な決断を下す必要があります。

大半の組織は、制約規則に則りユーザーによるメールの送受信履歴を必要としています。管理者は訴訟ホールドに対応したメールボックスレポートを使用して、Exchange Online メールボックスで訴訟ホールドを有効化したユーザーに関する情報を取得できます。多くの組織では、ヘルプデスク、人事、営業などに関する部署があり、集約型のサービスと、一般的なメールアドレスを含む共有メールボックスを提供しています。管理者は、共有メールボックスレポートを使用して、すべての共有メールボックスとその詳細に関する情報を取得できます。

ADManager Plus の Office 365 向けユーザーレポートは、以下の情報を提供します：

- Office 365 すべてのユーザーレポート
- 非アクティブなユーザーレポート
- 一度もログオンしていないユーザーレポート
- 最終ログオンレポート
- ActiveSync 有効化ユーザーレポート
- 共有メールボックスレポート



Office 365 ユーザーレポート画面

# ADManager Plus で Office 365 のユーザーレポート生成

## Office 365 のすべてのユーザーレポート

Office 365 環境に存在するすべてのユーザーのリストの取得方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. ユーザーレポートをクリックして、グループレポートの下の Office 365 のすべてのユーザーをクリック
4. 任意の Office 365 アカウントを選択して作成をクリック

## 非アクティブなユーザーレポート

一定期間中に Office 365 にログオンしたことのない Office 365 ユーザーのリストの取得方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. ユーザーレポートをクリックして、グループレポートの下の非アクティブなユーザーをクリック
4. Office 365 アカウントを選択して、任意の期間を入力
5. **作成**をクリック  
非アクティブユーザーレポートは設定したドメインコントローラーからすべてのユーザーの最終ログオン時間を取得して、その情報に基づいて Office 365 と Active Directory の両方における非アクティブユーザーの結果をフィルタリングします。
6. Office 365 のユーザーライセンスを割り当て、削除、置き換えするには、**操作オプション**をクリックして、ドロップダウンリストの Office 365 管理から必要な操作を選択
7. Office 365 ユーザーの Exchange Online メールボックスの設定を管理するには、目的のユーザーアカウントを選択して、**操作オプション**の**メールボックス管理**から必要なメールボックス管理操作を選択

## 訴訟ホールドが有効なメールボックスレポート

訴訟ホールドを有効化した Exchange Online メールボックスのリストの取得方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. ユーザーレポートをクリックして、グループレポートの下の非アクティブなユーザーをクリック
4. 目的の Office 365 アカウントを選択して、作成をクリック

## 一度もログオンしていないユーザーレポート

一定期間中に Exchange Online にログオンしたことのない Office 365 ユーザーのリストの取得方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. ユーザーレポートをクリックして、グループレポートの下の一度もログオンしていないユーザーをクリック
4. 目的の Office 365 アカウントを選択して、作成をクリック

## 最終ログオンレポート

Office 365 ユーザーの最終ログオン時間を、割り当てライセンスなどのその他の情報のリストの取得方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. ユーザーレポートをクリックして、グループレポートの下の最終ログオンをクリック
4. 目的の Office 365 アカウントを選択して、作成をクリック

## ActiveSync 有効化ユーザーレポート

メールボックスで ActiveSync が有効化された Office 365 ユーザーのリストの取得方法：

1. **Office 365 タブ**をクリック
2. 左側のパネルで**レポート**をクリック
3. **ユーザーレポート**をクリックして、グループレポートの下の **ActiveSync 有効化ユーザー**をクリック
4. 目的の Office 365 アカウントを選択して、**作成**をクリック

## 共有メールボックスレポート

Exchange Online 環境で利用可能なすべての共有メールボックスのリストの取得方法：

1. **Office 365 タブ**をクリック
2. 左側のパネルで**レポート**をクリック
3. **ユーザーレポート**をクリックして、グループレポートの下の**共有メールボックス**をクリック
4. 目的の Office 365 アカウントを選択して、**作成**をクリック

# Office 365 管理の効率的な管理用ツールキット

## ライセンスレポート



### Office 365 のレポートの利点

多くの企業は、Office 365 の使用を開始するときに、必要な数のライセンスを推計します。Office 365 の管理者は、Office 365 のライセンス使用を常に最適化する必要があります。この業務には、組織を離れる従業員からのライセンス削除、新しい従業員へのライセンス割り当て、非アクティブユーザーのライセンスの削除、他のユーザーへのライセンス再割り当てなどが含まれます。ライセンス使用を常に追跡することは、コストを削減する上で重要です。Office 365 管理用のネイティブツールは、包括的なツールではなく、PowerShell のスクリプトは複雑です。

よい方法は、ADManager Plus を使うことです。これは、ウェブベースのソリューションであり、Office 365 のライセンスや、ライセンスを付与された/されていないユーザーの詳細な情報を提供します。管理者は、これらのレポートを活用して、組織におけるライセンスの使用を最適化できます。

ADManager Plus の Office 365 向けユーザーレポートは、以下の情報を提供します：

- ライセンスのあるユーザーレポート
- ライセンスのないユーザーレポート
- ライセンス情報レポート



Office 365 ライセンスレポート画面



# ADManager Plus で Office 365 のグループレポート生成

## ライセンスのあるユーザーレポート

Office 365 環境においてライセンスを付与されたすべてのユーザーのリストを、各ライセンスに割り当てられたサービスと共に取得します。

このレポートの生成方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. **ライセンスのあるレポート**をクリックして、グループレポートの下の**ライセンスのあるユーザー**をクリック
4. 目的の Office 365 アカウントを選択して、**作成**をクリック

## ライセンスのないユーザーレポート

Office 365 のライセンスを割り当てられていないすべての Office 365 ユーザーを取得します。

このレポートの生成方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. **ライセンスのあるレポート**をクリックして、グループレポートの下の**ライセンスのあるユーザー**をクリック
4. 目的の Office 365 アカウントを選択して、**作成**をクリック

## ライセンス詳細レポート

Office 365 環境で利用可能なすべてのライセンスを取得します。各ライセンスについては、すべてのアクティブ、割り当て済み、警告、保留、ロックアウト状態のリストを取得できません。

このレポートの生成方法：

1. Office 365 タブをクリック
2. 左側のパネルでレポートをクリック
3. ライセンスのあるレポートをクリックして、グループレポートの下のライセンス情報をクリック
4. 目的の Office 365 アカウントを選択して、作成をクリック

## ManageEngine ADManager Plus

ManageEngine ADManager Plus は Windows AD を効率的に管理するための Web ベースのツールです。AD を管理する立場にあるシステム部門やヘルプデスク担当者の日々の業務を手助けします。1つのコンソールからすべての作業を実行することができ、また GUI を利用した扱いやすいインターフェースを実装しています。管理に加えて監査に利用可能な詳細なレポートを提供します。

その他に Exchange Server、Office 365、G Suite 環境も管理可能です。

詳細情報は <https://www.manageengine.jp/products/ADManager.Plus/>からも確認いただけます。